

## 垂水体育館の移転で講座定員減!?



垂水区には現在、旭が丘にある垂水体育館とレバンテ2号館にある「垂水文化センター」と2つの体育施設があります。その2つが統合されて今年4月から、平磯に新しい体育館ができます。

アクセスの問題は残りますが、少なくとも面積が2倍以上になるので講座が減ることはないと思っていました。ところが利用者さんから「好きな講座が定員半分になると聞いた」との情報がありました。今年2月には決まるそうですが講座定員を減らさないように働きかけをしています。

## 国会議員の文通費に物申す!

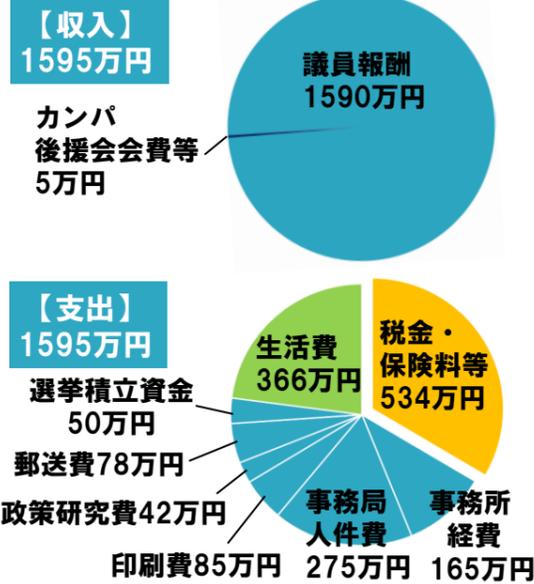


国会議員の月100万円の文書通信交通滞在費(文通費)は、日割りじゃないのはおかしいという問題が指摘されましたが、そもそも「使途は自由」「領収書の添付なし」はあり得ません。

地方議員の政務活動費のようにガラス張りにするべきです。昨年11月24日に、地方議員75人で支出基準の明確化を求める要請文を国会に送りました。

## 高橋ひでのり 直近1年の会計報告 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(金額は概数)



高橋は公約に掲げた「議員報酬削減」を実質的に実行するため、報酬とは別に支払われる政務活動費(年間約456万円)を神戸市に全額返還し、議員報酬のみで議員活動をまかっています。

## 活動日誌 (2021年10月～12月・抄)

- 10/04 ガラスびん3R促進協議会の環境局要望に同席(写真①)
- 10/07 塩屋まちづくり推進会に参加
- 10/10 霞ヶ丘まちづくり推進会役員会に参加
- 10/23 市政カフェ(神戸市のごみ処分)を主催
- 10/24 多井畑西地区の竹林整備ボランティアに参加(写真②)
- 10/26 らいふ花山(アルコール依存症者の就労支援事業所)見学(写真③)
- 10/31 新しい学びを支える親の会の学習会に参加(写真④)
- 11/03 名谷ふれまち文化祭に参加(写真⑤)
- 11/11 塩屋9丁目市住跡草刈りに参加(写真⑥)
- 11/13 生活困窮者自立支援全国大会にオンライン参加
- 11/14 つなぐ神戸市議会議員団市政報告会(住吉駅)を主催(写真⑦)
- 11/24 フードバンク関西を訪問(摂食障害者支援)
- 11/27 市政カフェ(オーガニック給食と農業)を主催
- 11/29 11月議会開会(12月8日まで)
- 12/05 第4回いのちとくらしの映画祭に参加
- 12/07 兵庫土建労組垂水支部幹事会に参加
- 12/12 木の芽家族会(精神障がい者家族会)学習会で講演(写真⑧)
- 12/17 精神保健福祉センター主催の依存症学習会に参加
- 12/21 神戸朝鮮高級学校作品展&コンサート(垂水区役所)に参加
- 12/25 市政カフェ(11月議会報告)を主催



## ポスター掲示先募集中

政治活動ポスターを2種作成しました。家の壁、扉などへの掲示をさせていただける方は当会までご連絡を。



## 【発行】高橋ひでのりと市政を考える会

〒655-0894 神戸市垂水区川原2-1-16 谷本ビル202  
 TEL:070-7489-6715  
 (市政相談電話受付:月～金 9時～19時)  
 FAX:078-330-3562  
 Mail:takahashi.tarumiku@gmail.com  
 URL: https://www.shiminnokaze.com



このニュースは年に4回発行します。ニュースの郵送を希望される方は上記までご連絡ください。

つなぐ神戸市議会議員団

高橋ひでのり

# 市民の風

No.18  
 高橋ひでのりと  
 市政を考える会  
 ニュース  
 2022年 新春号



動物園を含む王子公園の再整備基本方針(素案)が明らかになりました。王子スタジアムと補助グラウンドを廃止し、そこに大学を誘致。スタジアムは動物園の北側に移転するが陸上トラックを廃止し、アメフトなど球技利用中心に。動物園内の遊園地は廃止。体育館と弓道場は北側に移転するがプールは廃止するというものです。動物園は、基本構想の策定が進められていますが、運営が民間に移される可能性もあり、その場合は須磨海浜水族園のように教育的側面が減ったり、入場料が高くなったりするかもしれません。

低料金で楽しめる遊園地やプールが急に廃止されることになり困惑している市民もいます。住民説明会は一度だけで、パブコメ(意見募集)も形式的、市民の声を聴く姿勢が感じられません。

また、神戸市は内陸部の高速道路網に近いところに産業団地が必要という理由で、神戸市が運営してきた「西神戸ゴルフ場」を廃止しようとしています。しかし神戸市は、この廃止の話も利用者に全く知らせませんでした。須磨海浜水族園の再整備をはじめ、市民に愛されている施設をいきなり変えてしまう神戸市。利用者や住民の声を聴くことを強く要求します。

## 気候危機対策に市民の声を

このままでは、地球の平均気温は2030年頃に産業革命前から1.5℃上昇すると言われています。今や「気候危機」です。

これまで高橋は、神戸市が「地球温暖化防止の目標を達成している」内実が、神戸製鋼所の加古川移転に伴うCO2排出減であることを指摘し、実効性のある地球温暖化防止計画の策定や市役所庁舎のZEB(ゼロエネルギービル)化を求めてきました。神戸市は「国の動向を見守る。市役所2号館のZEB化については事業者の状況を見ながら検討」との答弁でした。国が2021年10月に地球温暖化対策計画を決定したことを受けてやっと、2022年秋までに地球温暖化防止実行計画を改訂しようとしています。

しかし、製鋼所の代わりにできる石炭火力発電所から神戸市全体の排出量よりも多いCO2が排出されるのに「電力は消費側で計算されるので影響ない」と他人事です。

高橋は、札幌市が行ったくじ引き委員による気候市民会議の実施や2025年の新築建物断熱基準を前倒して実施するなど気候危機対策を求めています。



【久留米市環境部庁舎】省エネ・創エネ技術を駆使してリフォームを実施。日本初の公共『ZEB』施設。